教育講演5
演題番号　EL5（D）

Mass gathering medicineとしての熱中症対策
―東京オリンピック・パラリンピック2020に向けて―

[1]昭和大学医学部救急医学講座
○三宅 康史[1]

2020年の東京オリンピックに向け，様々な準備が進行しているが，選手のみならず観客の熱中症対策も重要であり，内閣府を始め関連する省庁や東京都が協働して対策が検討されている。特に注意を要するのは，緯度の高い国や南半球から訪日する外国人観光客への熱中症対策であるが，その臨床データはほぼ皆無といえる。日本の夏のオリンピックを安全に楽しんでもらうために，オリンピック開催までの4回の夏における気象データ，救急車搬送数，日本救急医学会のHeatstroke STUDYとFaxを用いた即時発生委数，厚労省の提供するレセプトデータを統合し，外国人・障害者を含む観光客の熱中症予防対策について，これまでわかっている熱中症の病態や疫学とともに情報提供する。

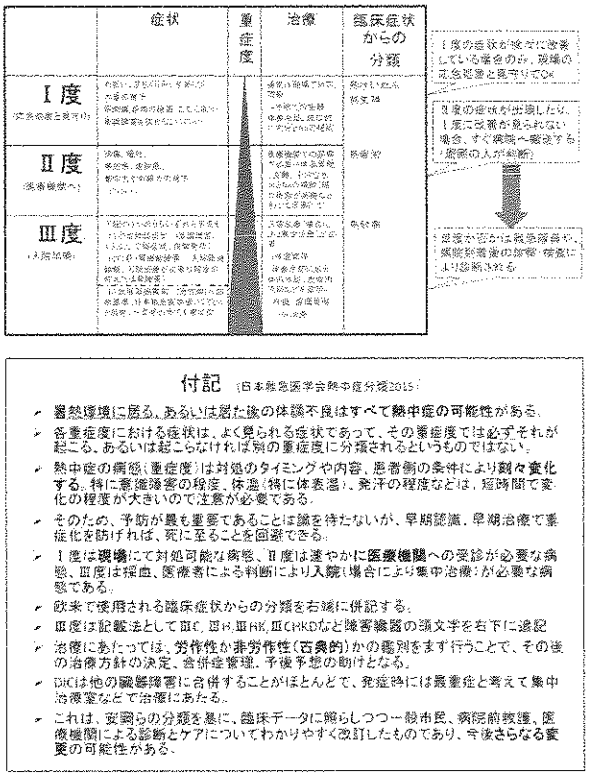

図　日本救急医学会熱中症分類2015

学　歴
1978年3月　徳島県立脇町高校理数科卒業
1985年3月　東京医科歯科大学医学部医学科卒業

職　歴
1985年5月　東京大学医学部附属病院救急部入局
1986年1月　公立昭和病院脳神経外科・救急医学科（ICU）・外科
1992年6月　同　医長
1996年10月　昭和大学病院救命救急センター／昭和大学医学部救急医学科　助教
2000年4月　さいたま（旧大宮）赤十字病院救命救急センター長・集中治療部長
2003年5月　昭和大学病院救命救急センター／昭和大学医学部救急医学科准教授
2011年4月　同　センター長・救急医学科診療科長
2012年10月　同　教授
現在に至る

主たる所属学会・役員等
日本救急医学会　指導医，救急統合データベース検討委員会，保険委員会
日本臨床救急医学会　評議員，PEEC-WG委員長，JMELS開発・改訂小委員会
日本脳神経外科学会　評議員，専門医

その　他
日本外傷学会　評議員，専門医，保険委員会
日本集中治療医学会　評議員，専門医，神経集中治療委員会
日本救急医学会関東地方会　常任幹事長
日本神経救急学会　幹事，ISLS質の向上委員会，第30回総会学術集会会長
日本脳神経外傷学会　重症頭部外傷治療のガイドライン委員会，編集委員会